

殻運動にともなう圧力や花崗岩の貫入による熱で変成されて、でき上った岩石です。

崖の岩石を注意深く観察すると、岩石の風化面には淡緑色と緑色のしま模様があります。この色の違いは、変成作用をうける前の、つもった時の岩質の違いによるので、この崖は、うすい地層が何枚も重なって垂直に近い（80°東方向に傾斜）状態に、地層が立っていることが観察されます。



2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

上三坂公民館前の三坂川大橋の付近

(2) 橋の上から、川原のようすや水の流れを観察する。

① 川原のようす、岸のようすや水の流れなどの全景をスケッチする。

② 水の流れが曲がっている付近で、岸がけずられているのは内側か、外側か。

③ また、川原はどちら側にできているか。

(3) 川原において、水の流のはたらきを調べる。

① ②の付近で川原の近くと向かい岸の近くで、水の流はどちらが速いか調べる。

